



(写真) Shutterstock “トランプ前大統領 副大統領にベネズエラ問題と関係薄いJD バンス上院議員を指名”

2024年7月15日（月曜）

政治

「[トランプ候補 JD バンス議員を副大統領に指名](#)
～ベネズエラ問題に対する色はほぼなし～」

「[CNE 役員 政府による野党活動家迫害を批判](#)」

経済

「[与党国会 輸出促進法を承認](#)」

「[外国からの訪問者数 2022年から急増](#)」

「[OVF アンケート調査 インフレに楽観的観測](#)」

「[6月 純粋な産油量は日量80万バレル弱](#)」

社会

「[墨 24年前期ベネ不法移民37.7万人逮捕](#)」

2024年7月16日（火曜）

政治

「[7月15～16日 選挙キャンペーンまとめ](#)
～マドゥロ大統領 ボリバル州で演説～」

「[マドゥロ大統領 プロスペリ氏と面談](#)

～[プロスペリ氏の方針転換に強い違和感](#)～」

「[コロンビア政府 選挙監視団派遣を検討](#)」

「[西国民党 ベネズエラに選挙監視団派遣?](#)」

「[西 ホセ・ブリト大統領選候補らに汚職捜査](#)」

「[検事総長 Ojeda 氏殺人容疑者の事情聴取要請](#)」

経済

「[Changan Auto 24年販売目標は2000台](#)」

2024年7月15日（月曜）

政治

「トランプ候補 JD バンス議員を副大統領に指名
～ベネズエラ問題に対する色はほぼなし～」

共和党のダニエル・トランプ前大統領が演説中に銃撃を受けたことは日本でも大きな話題になっている。

トランプ前大統領の自作自演との憶測もあるが、この一件を受けてトランプ前大統領の支持率が拡大。

一方、民主党のジョー・バイデン候補は討論会で精彩を欠いたことで支持が急落。代理候補擁立を求める動きが散見されている。

2025年以降の米国大統領が誰になるのかはベネズエラの将来にとって極めて重要な問題だが、現時点で言えばトランプ前大統領に追い風が吹いている印象がある。

そのような中、トランプ前大統領は、中西部ウィスコンシン州ミルウォーキーで行われた党大会にて、J・D・バンス上院議員（39）を副大統領候補に正式指名した。

トランプ前大統領はソーシャルメディアにて「熟考を重ね、他の多くの人々のすばらしい才能を考慮した結果、米国副大統領の地位に最も適切な人物は、偉大なオハイオ州のバンス議員だと決断した」

「バンス議員は、われわれの憲法のために闘い、われわれの軍隊とともに立ち、私の『Make America Great Again (MAGA、米国を再び偉大に)』の目標を実現するために全力を尽くすだろう」

と投稿した。

バンス議員は、オハイオ選出の上院議員。

外交面では、中国を米国にとっての最大の脅威と捉えており、中国問題に注力するため、ロシアによるウクライナ侵攻問題への比重を落としたい考えを持っているようだ。

バンス議員の対ベネズエラ方針については、情報がない。オハイオ州選出の上院議員と言うことで、フロリダ州やテキサス州などと異なりベネズエラ問題に対する当事者意識がそこまで強くないことが理由とされる。

つまり、ベネズエラ問題について、バンス議員は比較的ニュートラルなスタンスで決断することになるだろう。

なお、トランプ前大統領の副大統領候補として、フロリダ州選出のマルコ・ルビオ上院議員の名前が挙がっていたが、同氏は副大統領に選ばれなかったことになる。

ルビオ議員とマドゥロ政権との関係は極めて悪く、ルビオ議員が副大統領になった場合、マドゥロ大統領再選後のベネズエラとの外交関係は絶望的なものになると思われる。

バンス議員が副大統領に選ばれたことで、とりあえず、マドゥロ大統領が再選した場合でも米国とベネズエラの外交関係は進展する余地を残したと言える。



（写真）Shutterstock

“JD バンス上院議員”

「CNE 役員 政府による野党活動家迫害を批判」

7月15日 「選挙管理委員会（CNE）」のファン・カルロス・デルピノ役員（野党系役員）は、「平和的な選挙キャンペーンを阻害する作為的な逮捕や、政治権を侵害する移動の妨害や迫害は即座に停止しなければいけない」と発表。マドゥロ政権に対して、野党に対する迫害をやめるよう求めた。

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1089](#)」でも紹介した通り、選挙キャンペーンが始まり、「徴税庁（SENIAT）」や警察などによる野党関係者に対する嫌がらせ・逮捕が激しさを増している。

マドゥロ政権による嫌がらせはその後も続いている。

非政府系団体「Foro Penal」によると、ベネズエラ人歌手 Wilmer Ramón Álvarez Vargas 氏がマリア・コリナ・マチャド氏（以下、MCM）に曲を提供したことで、逮捕されたという。

他、非政府系団体「Laboratorio de Paz」によると、7月3日に選挙キャンペーンが始まってから現在までに71名の野党支持者が拘束されたという。

野党側が警察や軍人を挑発し、意図的に逮捕されることでマドゥロ政権のネガティブキャンペーンを拡散している部分はあるのかもしれないが、様々な報道を見る限りマドゥロ政権側が野党を迫害している印象はぬぐえない。

マドゥロ政権は大統領選の正当性を国際社会に認められたいと考えているが、一連の対応は間違いなくマイナスに作用する。また、これらの迫害が野党支持者の投票意欲を掻き立て、マドゥロ政権の印象を悪くする一因にもなっており、合理的な対応とは言えないだろう。

経 済**「与党国会 輸出促進法を承認」**

与党国会は「非石油部門輸出促進法」を承認した。

マドゥロ大統領は、与党国会に対して非石油部門の輸出を促進するよう要請。この要請を受けて与党国会で議論することが予定されていた。

同日中に承認されたということは、ほとんど議論されることなく承認されたということだろう。

現在のところ官報で公布されていないため詳細は不明だが、報道によると、同法律は26条で構成されており、非石油部門の輸出に関する手続きを簡素化するような内容が書かれているという。

また、ベネズエラ国内の製造業者が輸出のために必要になる財・サービスへのアクセスを支援するような仕組みも定められているようだ。

「外国からの訪問者数 2022年から急増」

ベネズエラのアリ・パドロン観光相は、2013年～24年（24年は見通し）のベネズエラの外国人観光客数の推移をグラフで公表。

同グラフによると、ベネズエラの外国人観光客数は2013年の約108.5万人から徐々に減少が続き、2020年には Covid-19の影響などもあり約5.6万人まで減少。

その後、2022年から急激に外国人観光客数が増加しており、2023年には約125.8万人。24年には更に25%増の157.3万人を見込んでいるという。



なお、2022年と23年の各月の外国からベネズエラへの訪問数を比較すると下グラフの通り。23年は前年比92%増となった。



また、24年に入っても外国からの訪問者数は増加を続けており、24年1～6月の時点で既に109.8万人になっているという。



「OVF アンケート調査 インフレに楽観的観測」

「ベネズエラ金融観測所 (OVF)」は、国内の経済・金融分野の専門家に対して行ったアンケート調査の結果 (24年6月版) を公表した。

同アンケートによると、

「為替レート (24年末)」は、回答者により40～55ボリバル/ドルの幅があり、平均値は45ボリバル/ドル。中央値は43.8ボリバル/ドルだった。

「インフレ率 (24年末)」は、回答者により30～50%増の幅があり、平均は前年比40%増。中央値は同38.5%増だった。

「経済成長率 (24年)」は、回答者により4～6%増の幅があり、平均は前年比5%増。中央値は同5.6%増だった。

Resultados de la Encuesta de Expectativas Económicas 2024	Mediana	Rango	Tendencia Central
	2024	2024	2024
Proyección del tipo de Cambio (Bs/US\$)	45	40-55	43,8
Proyección tasa de Inflación (%)	40	30-50	38,5
Actividad Económica	5	4 - 6	5,6

(写真) OVF

「6月 純粋な産油量は日量80万バレル弱」

ベネズエラ人経済学者ラファエル・キロアス氏は、2024年6月時点のベネズエラの産油量について OPEC が公表している日量85.1万バレルが正しいとの見解を示した。

ただし、日量85.1万バレルのうち同5.4万バレルは希釈剤など改質剤が含まれており、純粋な原油の産油量は日量79.7万バレルと推測した。

また、2024年末時点の産油量が日量90万バレルになると予想。原油輸出量は日量67.6万バレル、国内の原油消費量は日量17.5万バレルになるとした。

社会

「墨 24年前期ベネ不法移民37.7万人逮捕」

メキシコの「国家移民局（INM）」は、2024年1～5月までに移民当局が拘束した不法移民数を公表。INMによると、メキシコ当局は同期間で130万人を拘束したという。

なお、2023年の逮捕者数は通年で78.2万人だったようで、24年に入り急激に逮捕者が増えている。

逮捕者を国籍別にすると、ベネズエラ人は37万7401名で第1位。2番目はグアテマラ人で20万9540人。3番目はホンジュラス人で14万4499人。4番目はエクアドル人で13万6399人。5番目はハイチ人で10万7432人と続く。

この数字の通り、ベネズエラの不法移民が圧倒的に多いことが分かる。

2024年に入り、ベネズエラから国外への移住の波は落ち着いているが、コロンビア・ペルーなど近隣国に移住したベネズエラ移民がより良い生活を求めて北上していることが確認できる。

2024年7月16日（火曜）

政治

「7月15～16日 選挙キャンペーンまとめ
～マドゥロ大統領 ボリバル州で演説～」

以下では7月15日～16日の与野党候補の選挙キャンペーンの動向を紹介したい。

7月15日 マドゥロ大統領は、ボリバル州 Piar、San Felix、Angostura del Orinoco で選挙イベントを実施。また、ボリバル州の教育施設を視察した。



7月16日 マドゥロ大統領は、警察学校の学生らを前に演説。帝国主義国による内政干渉を拒絶し、コミュニケーションを中心とした政府システムを守るよう求めた。



また、カラカスの La Vega にて選挙演説を実施。支持者に投票を呼び掛けた。



(写真) 全て大統領府

7月15日 ゴンサレス候補は特段の選挙活動はしなかったようだ。他方、MCM氏はソーシャルメディアに動画を投稿。

7月28日の大統領選では投票時に行列ができ、外で長く待つことが想定されるのため、軽食や水を持参するようアドバイスを行った。

7月16日 ゴンサレス候補は妻の Mercedes Lopez氏とともにキリスト教会のミサに出席。教会関係者からの歓迎を受けた。



(写真) ConVzlaComando

「マドゥロ大統領 プロスペリ氏と面談 ～プロスペリ氏の方針転換に強い違和感～」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1089](#)」にて、「行動民主党 (AD)」の元幹部であるカルロス・プロスペリ氏がマドゥロ大統領への支持を表明したとの記事を紹介した。

プロスペリ氏は、主要野党の一角 AD の中枢にいた人物だった。そのプロスペリ氏は自身のソーシャルメディアにて「国家は何よりも上の存在である。マドゥロ大統領よ、私を頼ってくれ」と投稿しており、180度の方針転換は強い違和感を感じざるを得ない。



Ustedes me conocen, saben quién soy, un hombre que siempre he trabajado por nuestra Venezuela, con sinceridad y diciéndoles las cosas como son, sin mentiras ni engaños. Hoy está en juego el destino del país, sé muy bien de lo que hablo cuando denuncio ante los medios de comunicación los planes de arrebatarle la paz a nuestros hermanos venezolanos, sembrar odio y revanchismo, no respetan ni a los que pensamos distinto. Que quedará para los que nunca los han acompañado?
Basta de odios, basta de utilizar a nuestro pueblo para enriquecerse con el dinero de los venezolanos.
Venezuela está lista para un gobierno de unidad nacional, donde todos aporten para el renacer de nuestro país!

“Cuenta conmigo Presidente @nicolasMaduro el país está por encima de todo!”

Translate post



(写真) @prospericarlos

7月16日 そのプロスペリ氏とマドゥロ大統領が面談。プロスペリ氏は直接、マドゥロ大統領を支持する意思を伝えた。

プロスペリ氏の豹変ぶりは異常と言える。マドゥロ政権に何らかの弱みを握られたか、最初からマドゥロ政権の内通者だったか、現在の野党に相当な不満を抱いているか、あるいはこれらの要因が絡んでいるのか様々な理由が考えられそうだ。



(写真) 国営放送 VTV

「コロンビア政府 選挙監視団派遣を検討」

Milton Rengifo 在ベネズエラ・コロンビア大使は、7月28日に予定されているベネズエラの大統領選について、コロンビアから選挙監視団を派遣するかどうかを検討していることを明らかにした。

Rengifo 大使によると、マドゥロ政権のイバン・ヒル外相からコロンビア政府に対して、直接、選挙監視団への招待があったという。

Rengifo 大使は「恐らく監視団を派遣することになるのではないかと前向きな姿勢を示している。

「西国民党 ベネズエラに選挙監視団派遣？」

7月16日 スペイン「国民党 (PP)」の Miguel Tellado 報道官は、PP がベネズエラの大統領選に監視団を派遣すると発表した。

Miguel Tellado 報道官は、MCM 氏およびゴンサレス候補から招待を受けたと説明しており、Miguel Tellado 報道官の他に Macarena Montesinos 議員、Belén Hoyo 議員など複数の議員を派遣する考えを示している。

PP はマドゥロ政権と非常に関係が悪い。

欧州でマドゥロ政権への制裁強化を強く求めた政党であり、グアイド元暫定大統領が所属している「大衆意思党 (VP)」の党首レオポルド・ロベス氏の父親がスペインで PP 所属議員として活動している。

個人的には、マドゥロ政権が PP の選挙監視団を受け入れることはないと考えている。

「西 ホセ・ブリト大統領選候補らに汚職捜査」

スペイン司法当局が、ホセ・ブリト氏ら複数のベネズエラ政治関係者らの汚職捜査を開始した。

ホセ・ブリト氏は、7月28日に予定されているベネズエラの大統領選に「ベネズエラ第一党 (PV)」から出馬している。

ブリト氏以外にも Adolfo Ramón Superlano 氏、Freddy Superlano Salinas 氏、Conrado Antonio Pérez Linares 氏、Chaim José Bucarán Paraguayan 氏、Luis Eduardo Parra Rivero 氏、José Luis Pirela 氏、Richard Eloy Arteaga Blakma 氏らも捜査対象になっている。

これらの人物は、コロンビア人企業家アレックス・サブ氏が関与している CLAP 取引で汚職・マネーロンダリングを行ったとされている(詳細は「[ウィークリーレポート No.126](#)」参照)。

なお、今回名前が挙がっている人物は全て元々主要野党の議員。Freddy Superlano Salinas 氏に至っては、現在も「大衆意思党 (VP)」の幹部として今回の選挙キャンペーンでも活動を継続している。

報道によると、彼らは「Mulberry Proje」「FB Foods」「Max Power Engineering Limited」「Grand Group Limited」など複数の企業を介して11億ユーロの資金洗浄を行ったという。

既に本件の捜査は始まっており、マドリッド裁判所は Conrado Antonio Pérez Linares 氏に対して、7月19日に出廷するよう命じている。

「検事総長 Ojeda 氏殺人容疑者の事情聴取要請」

7月12日 コスタリカにて、チリに亡命したベネズエラ軍人 Ronaldo Ojeda Moreno 氏を殺害したとされる Villegas Rodríguez 氏が逮捕された(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1089](#)」)。

チリ政府は、Moreno 氏の殺害の理由を調べるため、コスタリカ政府に Villegas Rodríguez 氏の身柄引き渡しを要請している。

本件について、ベネズエラのタレク・ウィリアム・サブ検事総長は、ベネズエラの捜査当局がコスタリカを訪問し、Villegas Rodríguez 氏から事情聴取を行うことを認めるよう要請したと発表した。

他国で逮捕された自国民の事情聴取を行うことは協定で保障された権利であり、事実を明らかにするためにも必要な措置だと説明した。

また、サブ検事総長は、Moreno 氏の殺人事件捜査に関するチリ捜査当局の対応について懸念を表明。チリ政府が本件に関する情報を恣意的に隠していると主張している。

たしかにチリ警察は Moreno 氏の殺害に関与した17歳のベネズエラ人を逮捕している。同氏の証言は事件の重要な手がかりになるが、証言情報を公開していない。

経 済

「Changan Auto 24年販売目標は2000台」

現地メディア「Ultimas Noticias」によると、ベネズエラで自動車販売している中国企業は15社あるが、中でも勢いがあるのが「Changan Auto」だろう。

「Changan Auto」の Ilvimar Adan 販売部長によると、2024年のベネズエラでの新車販売目標は前年比80%増の2000台だという。

同社の自動車は、ベネズエラ企業 APB が所有する輸入販売総代理店「Multinacional de Vehículos CA」を通じて輸入・販売されている。

Changan Auto は、2020年からベネズエラで自動車販売を開始。当時はほとんど新車が売れる環境ではなかったが、それから約4年が経過し、状況は改善。

現在は全国に9つの代理店があり、新たに4つの代理店がオープンする予定だという。

以上